



『TDK環境活動2020』の制定について

TDK株式会社
2011年6月20日

TDK環境活動の定期改定について



- ◆ 環境憲章の理念を具現化するための具体的目標と施策を示したTDKグループの環境に関する中長期計画
⇒『TDK環境活動2020』として制定・公表

○ 2011年4月
『TDK環境活動2020』を制定（第三次）



○ 2006年4月
『TDK環境活動2015』を制定（第二次）



○ 2003年4月
『TDK環境活動2010』を制定（第一次）

※ 5年経過をめぐりに達成状況、社会動向を考慮して改定

TDK環境活動と経営での位置付け



- 中長期計画から落とし込まれる環境に関する年度目標を設定し、事業計画に反映
- グローバルで計画を推進し、目標達成を目指す。
- 年度末に目標の達成度を評価し、事業部の業績評価に連動

『TDK環境活動2020』のコンセプト



◆ コンセプト

製造業の使命

『製品を通してCO₂削減に貢献すること』



製品貢献

製品でのCO₂削減貢献量を数値化・可視化し、
生産活動でのCO₂排出量以上の成果をめざす。



コンセプト

『カーボンニュートラル』の達成

- ・ 前計画の進捗は良好に推移
- ・ 温暖化対策は最重要課題のひとつ
- ・ 部品製造業としての強いメッセージ必要

『TDK環境活動2020』のコンセプト



◆「TDK環境活動2020」の変遷

～2050年

環境成長戦略

- 「TDK環境活動2020」(2011年4月制定)
 - ⇒ ① 製品貢献の可視化・定量化
 - ② 「カーボンニュートラル」の達成

環境性能による製品差別化の時代へ

環境経営実践

- 「TDK環境活動2015」(2006年4月制定)
 - ⇒ ① 環境活動のグローバル化
 - ② 業績評価との連動

イメージ形成から経営の根幹へ

EMS強化

- 「TDK環境活動2010」(2003年4月制定)
 - ⇒ ① 環境リスクの低減、ゼロエミッション推進
 - ② 日本国内での活動が先行

リスク管理/循環型社会への対応

1990年代

2011年6月20日

「カーボンニュートラル」の達成



- ◆ 引き続き、生産活動に伴うCO₂排出量を削減するとともに、電子部品供給を通して製品・ノウハウによる社会・家庭でのCO₂削減貢献量を大きくし、2020年度末にはバランスをとる。
⇒ 「カーボンニュートラル」の達成！

2020年度末：生産拠点のCO₂排出量－製品でのCO₂削減貢献量 ≤ ゼロ

より小さくする活動



より大きくする活動



「カーボンニュートラル」への挑戦



◆ 「カーボンニュートラル」への挑戦

- 電子部品の小型化・高性能化、材料の内製化、高品質の確保
⇒ **エネルギー消費の増大傾向は継続**
- 電子部品業は最終製品の環境貢献を支える重要な基盤産業
⇒ しかし、電子部品による**貢献度の可視化・定量化は複雑**
- 一方、製品貢献の目標値化は、新製品開発を環境面から推進
⇒ **基盤技術の強化、成長力の確保**

⇒ 解決すべき課題のハードルは高いが、
「カーボンニュートラル」の達成は、企業価値の向上につながる
新たな挑戦である。

⇒ 「カーボンニュートラル」の達成を大きな柱とした
『TDK環境活動2020』を制定し、
2011年度から活動を開始します。

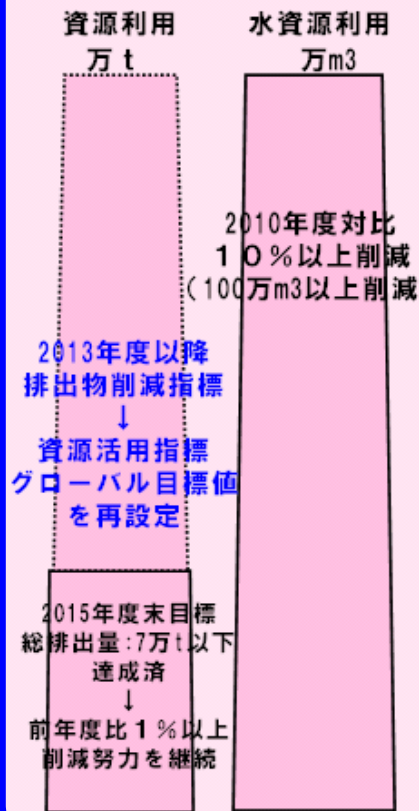
『TDK環境活動計画2020』の全体像



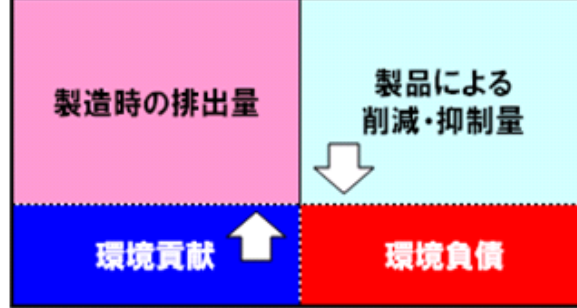
カーボンニュートラル

環境負荷量

その他の負荷削減目標



C02 バランスシート(業績評価に連動)



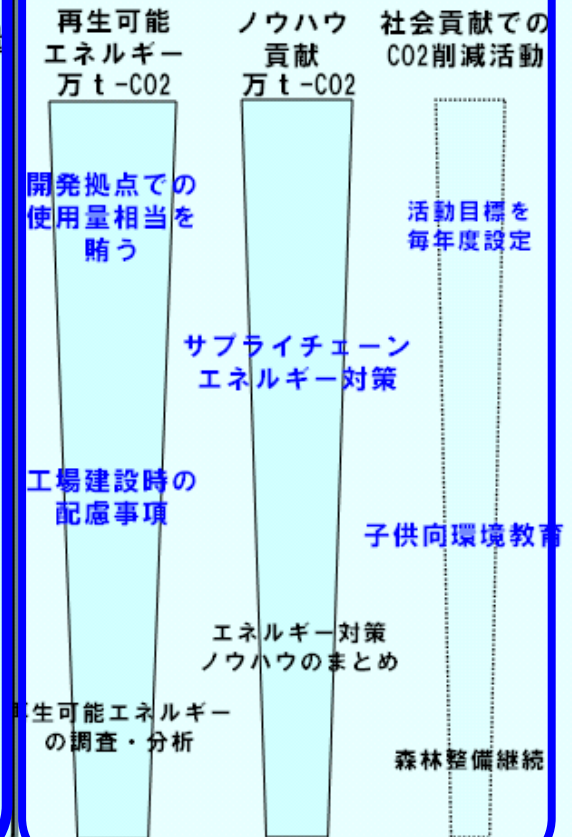
生産拠点のC02排出量 万 t-C02	年度	製品によるC02削減貢献量 万 t-C02
100	2020 ≦	100
前年度対比 1%以上削減	▲ 2015 >	中間目標
	▲ 2013 >	把握/公表 開発促進
	▲ 2012	
111	▲ 2011	

○ 自社算定基準 (整備⇒試算)
○ 貢献配分の獲得 (業界参画)

『2020』での新たな領域

環境貢献量

その他の貢献拡大目標



「カーボンニュートラル」の達成のために



より小さくする活動

エネルギー対策推進

生産活動に伴う
排出量

より大きくする活動

貢献量の大きい製品の拡充

製品・ノウハウによる
社会での貢献量

- 従来施策の強化(各工場)
 - ・ 燃料転換/高効率機器の導入
 - ・ 管理強化

- 工法/工程の抜本的改善
 - ・ 局所クリーン化
 - ・ 焼成炉の高効率化/排熱利用

- 負荷削減に資する開発
 - ・ 低温焼成可能な材料
 - ・ 小型化/高性能化

- 製品貢献に資する開発
 - ・ 使用時エネルギーロスのない材料/部品
 - ・ ユニット化/モジュール化による機能拡充
 - ・ お客様の製品貢献拡充への提案
- 製品貢献の数値化/可視化
 - ・ 製品貢献量の算定ルールの整備
 - ・ 業界としての共通算定ルールの提案
 - ※ 団体活動を通して取り纏めを推進

『TDK環境活動計画2020』



◆ その他の環境貢献拡大目標

○ 社会への貢献

- ・ グローバルで植樹を継続
- ・ 森林資源の有効活用

⇒ 地方行政とタイアップし、森林資源保護と地域活性化の両立

○ サプライチェーンへの貢献

- ・ 海外も含め、協力会社の省エネ指導を既に実施 ⇒ 支援の拡大

○ 再生可能エネルギーの利用

- ・ グローバルで再生可能エネルギーの導入・活用をさらに推進
⇒ 開発拠点でのエネルギー使用に伴うCO₂排出量相当分の再生可能エネルギーの導入・活用
(2020年度末:努力目標として設定)

『TDK環境活動計画2020』



◆ その他の環境負荷削減目標

○ 排出物の削減

- ・ 排出物総量の削減を継続（2015年度末目標は達成済）
⇒ 排出物総量を前年度比1%以上削減
- ・ EPCOSグループのゼロエミッションを達成
⇒ 2012年度末達成を目指して取り組み開始
- ・ 排出物指標から資源活用指標へ移行（新たなステップへ）
⇒ 資源の有効活用を的確に示す指標の導入と目標値設定（2013年度に移行予定）

○ 水資源の利用

- ・ 海外拠点の増加により、水資源の確保・保全が重要
⇒ グループ目標設定により使用量削減を強化
（※ 従来は生産拠点毎の取り組みで対応）
2020年度末に使用量をグローバルで10%以上削減

『TDK環境活動計画2020』



◆ 目標値および達成度の公表について

- 「TDK環境活動2020」の詳細は2011年6月下旬発行予定の「TDK CSR Report 2011」をご参照ください。
- 目標の達成状況も従来通り、「TDK CSR Report」にて公表していきます。

ご支援のほど、よろしくお願いいたします。

